

スポーツツーリズムの取組の現状報告（H29の取組についての進捗・最近の取組についての共有事項）

H29年度取組

- スポーツツーリズムのエントリー層である19～22歳の若者に様々な体験を「0円」で提供することで、将来的な需要を持続的に創出することを目的に、プレミアムスキームである「マジ☆部」を結成。
- アクティビティ系は年齢が上がるほど参加率が下がるので、いかに若い内に最初の体験をさせるかが大事。
- スノーリゾート、Jリーグ、ゴルフ、釣り、温泉等のカテゴリーで実施し、2017年8月までに88万人が参加。
- 「雪マジ☆19」では19歳の方をリフト代無料とした。リフト代は無料でも宿泊や交通等の周辺波及が大きい。高校卒業後、大学・専門学校時にやっておけば社会人になり休眠しても、子供ができるとまた戻ってくる。

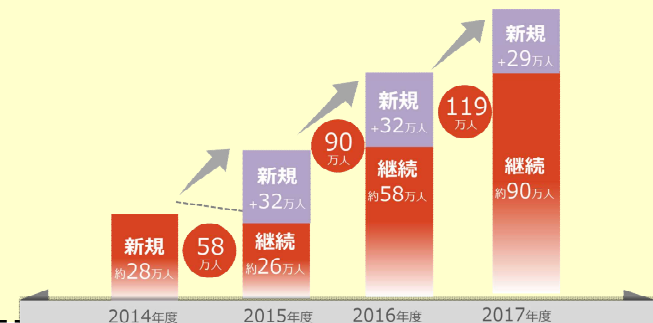


現状

- 若年層需要創出プロジェクト「マジ☆部」を継続中（2011年11月～）。
- 2017年度で合計119万人がマジ部に会員登録。  
【マジ部19歳会員の人口シェア】  
会員総数:17.8万人/人口:121.5万人  
（人口シェア：15%が会員）  
「全国19歳」の6.8人に1人、  
「関東19歳」の4.6人に1人が会員
- 2018年3月よりマリンアクティビティ需要創出「海マジ!」を新たにスタート。  
※現状進行中のサービス：  
雪マジ!19、雪マジ!福島(20-22歳)、  
海マジ!(19-20歳※釣りマジ統合)、  
ゴルフマジ!(練習場・ゴルフ場19-20歳)、  
Jマジ!(Jリーグ観戦19-20歳)、お湯マジ!(19-21歳)

・ 2017年度までで、会員数『100万人』を突破

※2018年3月31日現在



※1ページに収まらない場合は本ページにも記載ください。

※補足：雪マジ!19の影響による需要創造

学生時代の経験・来訪回数別の直近1年実施率

- 学生時代のスキー・スノボ経験有無により、社会人になってからのアクティブ率が異なる
- 特に雪マジ！経験者の社会人後のアクティブ継続率はかなり高い傾向が出ている

■ 2017年度スキー・スノーボード経験状況（スクリーニング：全体/各単一回答）

	n	スキー、スノーボードいずれか経験有り				スキー、スノーボードいずれも未経験	スキー、スノーボードいずれか経験有り
		スキーのみ経験有り	スキーとスノーボード両方経験有り	スノーボードのみ経験有り	スキー、スノーボードいずれも未経験		
●凡例							
23～29歳・社会人（専門卒以上）	(n=1244)	4.7	8.7		81.2	18.8	
学生時代の経験別の別							
学生時代スキー・スノボ実施層	(n= 387)	8.0	11.4	15.8	64.9	35.1	
学生時代スキー・スノボ非実施層	(n= 857)	3.3	2.7	5.8	88.6	11.4	
高校までに経験あり	(n= 415)	5.8	5.1	6.3	82.9	17.1	
経験なし	(n= 442)	0.0	4.8	0.0	93.9	6.1	
利用マシ別							
「雪マジ！」利用者	(n= 299)	14.0	18.1	21.4	46.5	53.5	
「雪マジ！」非利用者	(n=4501)	3.2	2.7	5.3	88.2	11.8	

3倍の開き

更に1.5倍の差

※全体より 10 10pt以上高い 5 5pt以上高い 5 5pt以上低い

【2017年度】スノーリゾートに関するマーケット調査（JRC調べ）より

S08\_04